

令和8年度 黒沢尻工業高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

黒沢尻工業高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により「学校における働き方改革」を推進します。

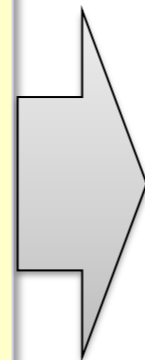
1 現状

【定量的現状】

- ◇「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の教職員
 - ➡ R7年度:0人(参考 R6年度:0人・R5年度:43人・R4年度:23人)
- ◇年次休暇の取得状況(一人当たりの年間平均取得日数)
 - ➡ R7年:14.7日(参考 R6年:17.1日・R5年:16.2日・R4年:16.4日)

【定性的現状】

- ◇教職員の意識
 - ➡ 時間外在校等時間の主な業務内容は部活動指導である。
 - ➡ 時間外在校等時間の多い教職員が固定化している。
- ◇管理職のマネジメント
 - ➡ 教職員一人ひとりの負担軽減を意識した、業務内容見直し等に努めている。



2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- ➡ 1か月時間外在校等時間の平均を25時間程度にします。
(R7年度:27.4時間・R6年度:29.4時間・R5年度:31.7時間)
- ➡ 年次休暇の平均取得日数を15日以上にします。

【目指す姿】

- ➡ 教職員が、生徒・学生一人ひとりを第一に考えた教育活動を展開し、限られた時間の中で最大限の効果をあげている。
- ➡ 教職員が、生徒・学生と向き合う時間を十分に確保し、生徒・学生の目標達成と夢の実現に向けて最大限の支援をしている。
- ➡ 教職員一人ひとりが、自分や家庭のために時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ◇面談等を通じて教職員一人ひとりの心身の状態の把握に努め、メンタルヘルス相談等の紹介や利用しやすい環境づくりに取り組みます。 ◇教職員に対して休暇取得を呼びかけ、休暇を取得しやすい職場環境を整えます。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇業務内容に優先順位を設け、生徒・学生にとって何が大切かとの視点から業務内容の見直しを進めます。 ◇文書の標準化やデータの共有を推進し、業務の円滑化を図ります。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇関係機関との連携を強化するとともに、業務分担の適正化に向けて検討を進めます。 ◇就職支援相談補助員や私費会計担当者、部活動外部コーチの配置を継続し、負担軽減を図ります。
令和8年度重点取組事項		<ul style="list-style-type: none"> ◇教職員一人ひとりの負担軽減を図る観点から、地域企業の協力のもと通年にわたって技術指導を受け、質の高い専門教育に取り組みます。

4 アクションプランの周知方法

- ◇職員会議等を通じて教職員に周知するとともに、学校のHPに掲載します。
- ◇PTA総会や学校運営協議会等を通じ、地域・保護者等に対してプランの内容を説明します。